

顧客の負担に配慮！

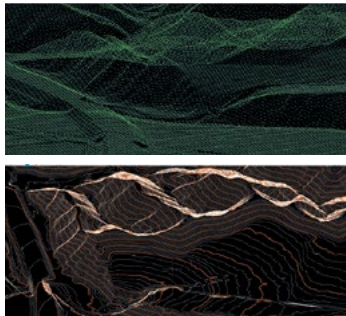
イクトの太陽光発電所開発調査 注目の良心価格 短期間で高精度

太陽光発電所を多数開発してきたイクトが新たなサービスを始めた。
太陽光発電所の開発が進められるかどうか、ポテンシャルを短期間で精度高く調査する。
顧客の負担に配慮した良心的な料金体系が注目を集めている。

再生可能エネルギーの需要が急拡大するなか、イクトはFIT（再エネの固定価格買取制度）を活用しない手法で数多の高圧・特別高圧太陽光発電所を開発している。施工実績は58MW、設計実績は142MWに達し、同社が2022年度に調査した開発用地の面積は1800haに及ぶのだ。これは太陽光パネルの出力換算で1.8GWに相当する莫大な規模で、このうち半分程度でイクトは開発を進めている。

そんな同社の強みは、土地の開発から設計や建設まで一貫して内製化できる点だろう。それゆえ太陽光発電所開発の知見やノウハウの蓄積とともに合理化を追求できたのである。同社はいま、太陽光発電所開発の競争力では他社の追従を許さない。

特筆すべきは、同社が開発用地の測量で使う日本初導入の『超高性能ドローン（無人航空機）測量システム』だ。高精度な3次元レーザースキャナ搭載のドローンを用いることで、同社は地形情報を短時間で精度高く取得できる。平井辰憲



ドローンによる地形解析データの一例。メッシュデータ(上)と等高線データ(下)

社長は、「樹木が生い茂る森林も正確に可視化できます。造成計画が立てられるうえ、切土や盛土の量も算出可能です。太陽光発電所では設置容量の算出が、風力発電所では風量計算が可能になり、造成工事費を正確に把握できるのです」という。

そこで同社は、この測量技術を用いた『開発用地の地形ポテンシャル測量調査』の



高精度レーザースキャナ搭載のドローンを用いたイクトの測量法。短期間で地形を正確に把握できる

提供を始めたが、特徴的なのは成果型の料金体系だ。例えば3ha～5ha未満の場合310万円、45ha～50ha未満は560万円と、同社は通常料金を定めたが、これらはあくまでも無事に開発に至った場合の料金とし、測量後に開発が頓挫した場合は各々62万円、112万円と、8割に及ぶ割引を行うというのである。

これについて、平井社長は、「開発に至らなければ、測量費は無駄になってしまいます。お客様の負担を考慮し、開発できなかった場合は通常料金の20%で済むようにしました」と経緯を語った。

イクトの測量調査は良心的だ。再エネ発

電所のディベロッパやEPC（設計・調達・建設）企業は、これを活用しない手はないだろう。

有益な開発ポテンシャル調査

一方、イクトは、知見の乏しい発電事業者やディベロッパなどが案件開発の成否を事前に判断できるよう『開発用地の開発許可ポテンシャル調査』の提供も始めた。顧客

の費用面の負担を考慮して基本調査と現地踏査の2回に分けており、基本調査では、開発に必要な許認可を全て調べつつ、事業敷地図に送電網や河川、保安林などの位置を明記し、国土地理院のデータに基づく等高線を反映した図面を作成する。現地踏査では、現地に赴き、受変電設備の進入路や設置場所、自営線ルート、排水ルートまで検討しつつ、行政と対面で協議し、開発許認可取得の可能性を推察する。

基本調査の料金は、特別高圧太陽光発電所が1件90万円、高圧太陽光発電所は1件40万円だ。発電所を複数開発する業者はお得な『年間契約プラン』を活用するとよい。特別高圧太陽光発電所3件で年間250万円、高圧太陽光発電所5件で同170万円だ。現地踏査の料金は、特別高圧太陽光発電所が1件80万円、高圧太陽光発電所が1件40万円である。

このほか、オプションも充実している。追加料金を支払えば、イクトは太陽光発電設備の配置図を作成したり、電力接続検討申込書を作成したり、発電量のシミュレーションまで行ってくれるのだ。

太陽光発電所開発における日本有数の企業へと成長したイクト。発電所開発のことなら、同社に相談すれば間違いないだろう。



株式会社イクト (IKUTO CORPORATION)

本社：静岡県袋井市山科2886-2 TEL：0538-84-6327 FAX：0538-84-6328

<https://www.ikuto.co.jp>